

# 議会だより

No. 34 2013年5月1日発行

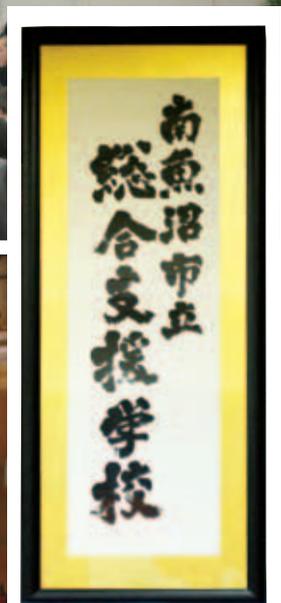
●発行責任者：南魚沼市議会議長 阿部 久夫  
●編 集：議会広報編集特別委員会

**4/10 市立総合支援学校  
開校式・入学式**

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索



書：金澤翔子氏

平成25年度一般会計予算の概要	2 頁
一般会計予算質疑応答、討論	3～4 頁
市長施政方針	5 頁
一般質問 21名が市政を質す	5～15 頁
各常任委員会報告	16～17 頁
第1回臨時会の概要	17 頁
第1回臨時会、3月議会の本議決結果	18～19 頁
議会全員協議会開催 3中学校の統合方針	20 頁

# 3月議会で決まったこと

## 平成25年度一般会計予算概要

予算詳細は市報予算特集号をご覧ください。  
(千円以下切り捨て)

◎予算規模	平成25年度	平成24年度	比較増減	割合
	309億300万円	323億5,200万円	14億4,900万円減	4.5%減

### ◎主要な施策

#### 保健・医療・福祉

- 後期高齢者保健事業の拡充へ…………… 750万円  
各種予防接種・肺炎球菌ワクチン接種と人間ドック助成
- 新市立病院の建設へ…………… 8億7,500万円  
平成25、26年度2カ年で新市立病院本体（六日町）の建設に着手。継続費33億円
- 養護老人ホーム魚沼荘を改築…………… 1億208万円  
25年度は用地取得と実施設計

#### 産業振興など

- サル被害の対策へ…………… 125万円  
サル被害への防止対策を行なう行政区へ5万円3年間補助
- グルメによるまちおこしに…………… 300万円  
グルメマラソン、コシヒカリトレイル、27年B-1グランプリの開催誘致に
- 消防庁舎の新築事業の完了へ…………… 2億549万円  
県道残地を買収し、訓練棟の建設
- 災害時の緊急伝達に…………… 2,300万円  
FMゆきぐに放送の難聴地域（浦佐）に対し大和公民館にアンテナを設置
- 消防救急のデジタル無線への移行に… 1,500万円  
平成28年5月をめざし移行可能となるよう整備。本年度は実施設計
- コミュニティ活動の拡充、推進へ……… 7,025万円  
市内の地域コミュニティ活動も定着。自主活動に予算増額
- 住宅リホーム事業の継続（4年目）へ…………… 8,000万円

#### 環境・都市基盤

- し尿受け入れ施設の建設計画に…………… 1,416万円  
平成30年を目処に、県の流域下水道処理施設への直接投入が可能となるよう環境調査を実施
- 新エネルギー普及へ…………… 450万円  
太陽光発電システムの設置費用の一部を助成。1kW当たり10万円以上30万円以下
- 道路の新設、修繕へ…………… 8億3,578万円  
国の緊急経済対策を受けて前倒しで24年度予算化し繰越した分と合わせて約16億円、前年度比54%の大幅増に

#### 教育・文化・スポーツ

- 図書館整備事業へ…………… 8億1,750万円  
本年度中に完成、26年6月オープン予定  
継続費8億6,650万円
- 小学校の大規模改修へ…………… 5,770万円  
赤石小学校改修。翌年度以降の準備で浦佐小、大崎小の実施設計
- 市立総合支援学校の開校、学校運営費に…………… 2,185万円  
4月開校。小学部13名、中学部14名、高等部32名、教職員43名に。
- 大原運動公園の整備へ…………… 7億5,800万円  
野球場は今年度末に完成予定、26年度の完成に向け多目的グラウンドの建設に着手

### 特別会計／事業会計予算

(千円以下切り捨て)

特別会計	金額	事業会計	金額
国民健康保険	63億5,300万円	水道事業	収益 19億7,153万円
介護保険	59億3,100万円		資本 18億8,123万円
後期高齢者医療	4億8,100万円		計 38億5,276万円
城内診療所	4億1,700万円	病院事業	収益 39億1,857万円
下水道	52億9,040万円		資本 9億7,750万円
合計	184億7,240万円		計 48億9,607万円



↑ 図書館内部イメージ図

→ 太陽光発電システム設置に補助



# 質疑応答

## 大綱質疑

【質疑】

市債残高削減は、今後10年間で216億円削減目標にしている。25年度は2億7千万円であるが、計画通り進められるか。

【答弁】

28年度以降大幅に減る計画だ。財政計画どおり進めているので十分達成できると見込んでいる。

## 歳入

【質疑】

市民税の収納率を前年度より0.4%下げているが、収納率向上の取組みは。

【答弁】

年少扶養控除廃止により、収納率は下がると見込んだが、魚沼地域の特徴徴収機構は全県トップとなり、そのことが、収納全体にも影響して徴収実績は上がっている。

【質疑】

し尿汲み取り手数料は、下水道整備と共に減るが、平成30年をメドとした2市1町の一本化の計画は進んでいるか。

【答弁】

六日町浄化センターへ直接投入ということ、関係者と協議しながら進めている。今年度、基本設計、環境調査を行う。

## 総務費

【質疑】

地域コミュニティ事業の基礎事業と提案事業の考え方は。

【答弁】

基礎事業は、地域要望の中で地域でやるべき部分を地域コミュニティでやる。提案事業は、地域の活性化やコミュニティを維持するための事業であれば、ほぼ縛りはない。

【質疑】

庁舎内での省エネ対策

はどうしているか。

【答弁】

1階北側をLEDにした。25年度は2階を予定する。電気料金は基本料金を抑えている。また東北電力以外から電気を購入して財源的にも抑えた。

## 民生費

【質疑】

保育園の非常勤職員の割合が多いが今後の考えは。また、内容は正職員とそう変わらないが、賃金の改善は考えているか。

【答弁】

余川保育園がなくなるので採用を抑えたが、予想より退職者が多かった。

今後の統廃合等も考慮しながら、正職員の比率を高めたい。非常勤職員の賃金は25年度からクラスを受け持つ非常勤職員の賃金を上げる予定だ。

【質疑】

総合支援学校も開校になり、バス通学費等も予算に盛り込んでいるが、聾学校等、当市の特別支援学校以外に通わなければならない児童、生徒もいる。交通費等の支援はないのか。

【答弁】

社会福祉協議会で用意する補助事業は、聾哑学校等通学者には就学援助費が出ていることもあり、該当になっていない。聾哑学校への通学者の状況も含め、どういう形ができるか検討したい。

【質疑】

魚沼荘の改築が進められるが、完成後は直営か、指定管理か。

【答弁】

競争原理が適切かどうか疑問もあるが、指定管理になるかどうかは別に

して、27年度から社会福祉協議会への移行を考えている。

## 衛生費

【質疑】

新市立六日町病院の建設は動き出したが、大和病院の建設計画はどうなっているか。

【答弁】

大和病院は基幹病院開院後になる。大和地区では3月末頃4地区に向いて意見を聞く。25年度中には概ねの方向が出ると思う。

【質疑】

枅形山最終処分場について、今2つ目の池で対応しているが、今後の計画は。

【答弁】

当初6か所予定したが、現在は2番目の池に入れている。地元とは15年間で契約しているが、この2池目を終わるまでは継続したいということで協議中だ。その後については、新たな建設と維持費も大きく、県外の民間の

【質疑】

処分場を確保できる計画もあり、経費も半分以下で対応できるため、それ以降は民間に委ねた方がいいとの結論を出している。

【質疑】

太陽光発電につき、1kW当り10万円、30万円限度での補助が予算化された。技術革新も進んだが、リチウムイオン蓄電池等補助を広げていく考えは。

【答弁】

当面雪国であっても設置も発電も可能という結論が出たので、補助を始めるが、25年度予算の中では、リチウムイオン蓄電池までは考えていない。それらも効果が実証できれば今後広げていきたい。

## 農林費・商工費

【質疑】

農業の6次産業化推進は、農家任せでなく、行政からの提案も必要だ。

【答弁】

雪国観光圏、道の駅などで商品開発をしている、特に道の駅では、加工場

も必要だということもあり、両JAや生産者等と研究を進めたい。整備し、具体的な商品化にも結び付けたい。

**質疑**

道の駅の「観光コンシェルジュ」は、どういう位置づけ、役割か。

**答弁**

25年度は雇用創出事業で「観光コンシェルジュ」を置くが、効果次第では、市で人件費を補助しながら、その後は観光協会の中で専務理事的な立場でやってもらいたい。営業も大きな役割だ。全国規模で公募する。



**土木費**

**質疑**

住宅リフォーム事業は評判がいい。募集を現在の年1回から2回に分けた方が、利用者にも、施工業者にも良いと思うかどうか。

**答弁**

予算を8千万円に増額した。前期、後期に分けると、予算の半分を国の交付金事業で取組んでおり、事業完了時期の問題や、半分ずつにして前期で4千万円を超えた応募の場合、抽選で決めるのかという問題等もあり、従来通りで行いたい。

**消防費**

**質疑**

女性消防士の1名採用の計画だが、女性ということで市民に安心を与える部分もある。1名でいいのか。応募に向けPRも必要だ。

**答弁**

女性消防官は1名内定している。県内では39名

いる。応募がなければどうにもならないが、2、3名位の体制にしたいのでPRしながら進めたい。

**教育費**

**質疑**

奨学金について、額や連帯保証人の問題、他の制度と重複した場合などでの、資格要件緩和はできないか。

**答弁**

大学の場合の月5万円は増額の検討をしたい。連帯保証人の件は国の動向を見ながら検討する。他の制度と重複して受ける件については、他の制度の関連もあるが前向きに考えたい。

**質疑**

学校給食のアレルギー食の対応はどうなっているか。

**答弁**

細かな連携で行っている。別に作って学校に搬入するが、搬入した給食がその子に届くかも重点にしている。万が一の場合も対応できる体制もとっている。

**原案反対 (日本共産党議員団)**

アベノミクス、TPP、原発再稼働、憲法改定の市長の姿勢は心配だ。「福祉、社会保障は、自助、共助があつて、公助は次だ」も実態を見ての言葉とも思えない。  
国の悪政で疲弊している市民の安心を守る防波堤になれ。

**平成25年度 一般会計**

**討論**

**原案賛成 (南魚沼みらいクラブ)**

市税の伸びが期待でき、自主財源比率のアップが期待できること。

一昨年の災害復旧工事の完了を第一に、新市立病院建設、図書館整備事業等、市民希望の大型事業の推進が図られ「希望に満ちあふれるまち」を目指しており、更なる財政の健全化を期待し原案に賛成。

**原案賛成 (市政クラブ)**

これまでの重点施策の継続の上に、市立図書館や新六日町病院、橋梁長寿命化等、市の骨格となる事業の予算化を図ったことを評価する。本予算審議における議会の意見に留意し、諸々の施策事業の着実な進捗と、更に事業の質を高めることを、強く期待し賛成とする。

**原案賛成 (歩む会)**

歳入では緊急経済対策を受け、平成24年度並みの予算編成が出た。優良債である合併特例債の活用をしている。歳出では医療・福祉・教育・都市基盤等に重点がおかれ、産業振興での「人・農地プラン」については高く評価する。

**原案賛成 (市民クラブ)**

災害復旧の完成を強く求めるものだが、重点施策の新病院の建設、魚沼荘の改築着手、大型事業の継続、総合支援学校や新規に太陽光発電への助成などへの積極的な取組みも評価する。  
「選択と集中」で、少子高齢化と人口減少という成熟社会での財政規律の確立、持続可能な公共サービスの提供を望み、原案賛成。



平成25年度を迎えるに当たり、市政運営に対する私の所信を申し上げます。  
平成25年度予算では、新潟福島豪雨災害から3年目となりますので、まずもって被災箇所への災害復旧を確実に完了させます。そして、合併事業として市民が待ち望んでいる

大型事業の着実な推進に努めてまいります。

一般会計予算では、(1)豪雨災害復旧事業の完了、(2)保健医療体制の整備、子育て支援、高齢者福祉の充実、(3)学校教育の充実、(4)地盤沈下対策、新エネルギー普及推進、一般廃棄物処理施設の広域化、(5)安全で快適な道路環境の整備、(6)農業及び観光の振興、雇用の促進、(7)財政の健全化、消防防災対策の強化を重点施策として編成いたしました。

養護老人ホーム魚沼荘の改築事業では、平成26年度からの改築工事に向けて実施設計及び用地買収を計画しております。

学校の施設整備につきましては、猛暑への対策として、3か年計画で全ての小・中学校の普通教室に扇風機を設置してまいります。

地球温暖化防止及び自然エネルギー利用促進等を目的に、太陽光発電システム設置費補助金制度を創設いたします。

「住宅リフォーム事業」を引き続き実施し、地域経済の活性化を図ってまいります。

生活化を図ってまいります。生ごみ処理の一手法として、直接投入型ディスプレイの使用許可について、一部地区で先行実施を行います。

新潟・福島豪雨による農地・農業用施設災害につきまして、平成25年度中の完了を目指し、平成25年度中の完了を目指し、地権者の皆様と協議をしながら、早期復旧を図ってまいります。

6年目に入ります地域コミュニティ活性化事業は、各地域での地区センターの開設時間を拡大統一し、地域への一層の定着化と活動の活性化に向けた体制強化を進めます。また、基礎事業に追加配分枠を新設し、地域のニーズに早期に対応できるようにいたします。

### 第3子以降の保育料

### 軽減策は

### 答 国の動向を見て検討する

塩谷 寿雄 議員

以前にも質問しているが、第1子、第2子の同時入園の場合、第1子の保育料が1万円なら第2子は半額の5,000円

になる。合わせると1万5,000円、2人で割ると一人7,500円となる。第3子以降の単独入園の場合は2割軽減で、保育料が1万円なら8,000円になる。

第3子が同時入園ならば第3子は無料だが、それはなかなか難しい。子ども2人を育てるより3人を育てるほうが、経済的負担は当然大きいと思う。最低でも2割5分以上の軽減をするべきだ。

今年度の民間枠には、若干名の採用に対して120〜130名の応募があった。公務員は憧れの職業だ。なるまでの試験等は大変だが、なったからよしと思う人も多いのではないかと。臨時職員は正職員と変わらない仕事内容であるのに待遇はかなり違うという中で、職員にはしっかりと意識を持ってやってもらいたい。

今後とも職員の質の向上はもとより、市民の皆様にも尽くしていきたい。今までも人事発令を拒否した者はいない。

### 市長

### 職員意識の向上を

### 市長



## 市民を脅かす 国政の防波堤に

**答** 提言は謙虚に受け止める



岡村 雅夫 議員

市民を脅かす国政に、防波堤の役割を。  
① アベノミクスは物価の高騰で生活が大変だ。  
② TPP参加は、市への

影響が甚大で断念を。  
③ 柏崎刈羽原発再稼働で、市民がここに住むことを守れるか。

④ 憲法を改定し、「国防軍」の創設を狙っている。

**市長**

① 消費税は経済悪化があれば導入しないと思う。  
② 守れなかったら抜ければいい。  
③ 再稼働もしながら緩やかに廃止が一番だ。  
④ 現憲法を金科玉条とは思わない。

## 施政方針について

費削減のみだ。公契約条例で経済波及効果を探求すべきだ。

**市長**

① 水道ビジョンは、浄水場の縮小で事業破綻だ。  
② 大和処理場で野菜くずを下水道に直接投入する粉砕機の実証実験は目的が明確でない。  
③ 五十沢・城内・大巻中統合は、大原運動公園二期工事を見直し、新設で。用地が二箇所は不合理。  
④ 指定管理制度は、人件

## 遠隔集落に バックホウの貸与を

**答** 来冬に間に合うよう検討



井上 智明 議員

高齢化が進む山間小集落では、雪処理に難渋している。バックホウの貸与ができないか。

**市長**

市で購入し、管理を任せる方法が良いと考える。市で実施した実例がないが、来冬までに間に合うよう検討する。

## お客さまに優しい 街づくりを

合併以来、少しずつ人口が減っている。観光は農業と並ぶ南魚沼市の産業の柱だ。そこで交流人口を増やすための施策は、

① 無料休息所の設置

個人のお客さまに無料休息所を求める声が多い。設置の考えは。

② 野外看板の整理

無秩序に設置され、放置されている看板は醜い。統一したデザイン等で整理はできないか。  
③ 観光地と宿泊施設のネットワーク化を

観光施設とホテル等の連携が悪く、宿泊客が湯沢町に泊まることが多い。六日町温泉に宿泊する手法を考えるべ

きだ。

**市長**

① 位置や管理施設等の問題もあるが、検討する。  
② 市は随時、整理している。不適切なものは県と相談し、指導に努める。  
③ 良いことなので、取り組みを提案する。



バックホウによる除雪



畔地浄水場

## 建築士を都市計画 審議委員に

**答** 建築士だけで都市計画をやるつもりはない



鈴木 一議員

なぜ建築士が都市計画審議会に参加していないのか分からないが、市のグレードということから考えれば参加させるべき

と考える。今回の都市計画変更でパブリックコメント、公聴会があると思えば、そこに建築士の意見というものが反映されなければならぬ。都市計画は建築士の仕事であり、建築士でなければできないと思う。建築士は、参加できないのか。

**市長** 今年度建築士会からの推薦で1名の建築士が審議会に参加している。都市計画審議委員は識者の

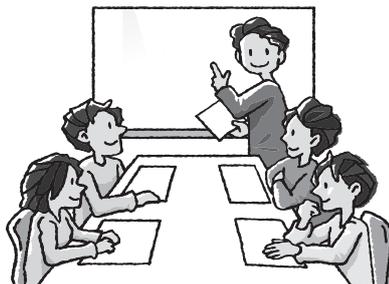
集まりで、建築士の委員は必要だが、多くの建築士を参加させることはないと考える。

### 大原運動公園指定 管理者に民間力を

平成25年に大原運動公園の指定管理期限が切れるが、現在は「文化スポーツ公社」が指定管理者となっている。マンネリ化してはいないだろうか。これから施設も充実し、それを生かすも殺すも指

定管理者の手腕にかかると。民間の大手スポーツ用品メーカー等の参入を検討しているか。何社かが緊張感を持って運営に当たってほしい。

**市長** これからは、文化施設とスポーツ施設を分けて指定管理を考えていく。スポーツ施設の中でも、「大原運動公園」はまた別に考えている。現在、何かの希望があるようだが、良い方向で検討していく。



## 水無溪谷に関わる 県道整備を

**答** 砂防工事に用道路の利用で



小澤 実議員

水無川には高石上流第2号砂防堰堤が着手されている。下流域住民の安全安心のため必要と思う。県内屈指の景観を誇る水

無溪谷の自然環境保護は、

- ① 越後三山森林公園より十二平までの道路整備。
- ② 広域基幹林道「高石中ノ又線」が雪国観光圏（スノーカントリートリール）のコースに認定されたが、整備計画は。

**市長** ①十二平までは一部が林道水無溪谷線で、水無トレッキングロードとして利用されている。上流に砂防堰堤計画があり、その工用道路

を残して利用するのがベターだ。

- ② 高石中ノ又線は、23年度に市の修繕と林道再生事業で整備した。魚沼市側が通行止めであり、25年秋に復旧の見込み。観光化については、不特定多数の往來の安全には万全を期す。

取により繁殖能力が向上

### 有害サル対策は

里山のサルは農作物被害が増えている。冬期間でも、原則的には被害が出せない。県では、ニホンザ

**市長** 冬期間でも、原則的には被害が出せない。県では、ニホンザ

ル保護管理計画により、平成25年から通年捕獲が可能となる予定である。



サル被害

## 転作率の市内均一化をはかるべきだ

答 困難、別の方策を



林 茂男 議員

同一市内であるにも関わらず市内3地区で米の転作目標値が違うことへの不満の声がある。平成16年頃からは、実

に4%近い開きが続いてきた。昨年度は塩沢地区で35・80%、全地区で「3年に一回休み」を超える恐ろしい数字だ。現農業政策で自由選択とはいながらも依然として『転作率』は農家を縛るものだ。適当な数字ではなく算定基準に拠るが理解が難しい。旧町から引き続きしているが、これを踏襲し続けてよいのか。本当に市内転作率の均一化はできないものなのか。急な

均一化はもめるだろうが、年次・段階的な修正を行なうために市独自に算定根拠の改訂ができないのか。配分は県から市へ、さらに市から2協議会（六日町・大和地区、塩沢地区）に通知された生産数量目標を基にする以上、市の姿勢、方針でしか改まらないと思う。市長の指導力を期待する。

参加・協力状況が現在ままで続いている。合併したから均一化する、と強権的にできるものではない。しかし、なんとかできないかという共通認識はある。転作率を緩和する中で率を揃える方策を考えるべきだ。現制度では売れば作れる。販売に力がいれることだ。



## 中心市街地の活性化について

答 ソフト面は地元の方々、ハード面は行政として積極的に取り組む



樋口和人 議員

合併時からの念願であった市立図書館が平成26年4月オープンを目指して、ショッピングセンター「ラ・ラ」内に建設

されるということではないよ、具体的に動き出した。現在、取り組んでいるワークシヨップなどを有効に活用して、市民の意見を取り入れて図書館システムの構築など、使いやすい市民に愛される図書館の建設に取り組むとともに、この施設を活用して中心市街地の活性化に取り組むべきだ。その際に市役所の回りを含むこの地域の道路や広場の

整備など、ハード面での支援を行政として行い、賑わいを創出すべきと考えるが市長の見解は。市長 地域の皆さん、地元商店街の皆さんにいろいろな方策を考えていただき、賑わいを創出してもらいたい。そのことに対する支援は、精一杯していきたいと考えている。ハード面での支援については、空いた土地を休

憩してもらえる場所やそのまま空間として生かすなど、今までとは異なる発想をしながら賑わいの創出に努めていきたい。



## 孤立死を防ぐ方策は何か

**答** 関係機関と自主防災組織を活用したい



寺口友彦 議員

市の地域福祉計画は行政だけではなく、住民同士の支え合いを謳<sup>うた</sup>っている。地域や近所との交わりを絶ち、孤立死が出て

いる。民生委員の方にも協力いただいている。今年の11月に改選を迎えるが、お願いしていくべきだ。

**市長**

孤立死は22年度に6件、23年度に4件、24年度に4件であった。電力会社や水道課、新聞などの協力を得て情報を集めている。地元の自主防災組織も活用していきたい。従来から民生委員にもそういうお願いはしてきた。

### 国の給与カットにどう対応する

- ① 団塊世代の大量退職の影響は。
- ② 国の給与カットに合わせた交付金減額にどう対応するか。
- ③ 歳出の大幅カットのための公共施設の長寿命化計画を早く示せ。

**市長**

- ① 市の計画とほぼ同じ人数の退職であったが、保育士4人、一般職で死亡1人の変更が出た。任期付再任用で対応などしていく。
- ② 0・8ポイント上回り、金額は1億8,000万円くらい減額だ。全国市長会の判断に従うが、今は給与カットを考えていない。
- ③ 私の任期4年間で分かるものは公表する。

## 病児保育・病後児保育の実現を

**答** 病後児保育は旧町に一箇所ずつの設置を目指す



桑原圭美 議員

2050年には高齢化率が40%を超え、労働者人口の減少が深刻となる。女性が子どもを産み、育てやすい環境を作り、

就労しやすくする政策が必要である。国内で3歳児未満児を持つ母親の就業率は29%しかない。労働と税収のバランスを考慮せず無償化政策をとると、働かないか、或いはフルタイムで働かない女性たちを国が政策的に作りだしてしまうことになる。こういっただけでいい。こういっただけでいい。こういっただけでいい。

**市長**

高い重要度だと認識し

### 教育政策に期待

ており、病後児保育は旧町一箇所ずつの設置をめざす。また、病児保育は当面一箇所ですべて私立の施設に配置を進めている。

**市長**

あるという研究調査もあり、今や教育費用は家庭が負担する時代から国や地域が負担するのが世界のスタンダードになりつつある。市長には教育への政策を期待したい。

高校無償化によりこの二年間で中退者は半減したが、子どもの教育の機会は親の経済力に左右されてしまう。無償化にならない就学前教育支出は家計の38%と高い負担で



## 地域の防災力強化を

**答** 基幹病院開院時に  
ドクターカーを配備したい



中沢 一博 議員

災害に強い街づくりをどう進めるか。「人の命を守ること」が政治の最大の使命である。「減災社会」をどう築くか伺う。

① 当市の老朽化が進むインフラの橋・道路などの今後の修繕補修計画は。

② Jアラートの現状と防災ラジオの計画は

③ 公共情報コモンズを活用した災害情報発信を

④ 地域防災力向上へ防災士の養成推進を

⑤ 救命率向上へ15分ルールと消防無線の早期デジタル化を

⑥ 庁舎に防災危機管理課(仮称)の創設を。

**市長**

① 市道の整備として29路線7億円を補正計上した。市の単費で毎年10億円、橋梁570橋を10年間で12億円を計画整備して行く。

② 3、200名登録頂いている。FMゆきぐにとJアラートを連動させ緊急情報を発信したい。エリアメールは25年末までに実施したい。ラジオは今までに1,712台配備今年

540台予定。

③ 今後コモンズの活用や実証実験に参加し情報発信に努めたい。

④ 自主防災組織や防災士については、関係者と協議したい。

⑤ 27年度基幹病院と同時にドクターカーの配備を計画して行く。

⑥ 体制強化は強く認識しているが、あえて課を設けることは考えていない。

Jアラートとは

災害などの緊急情報が国から市町村、市町村から住民へと自動的に送信されるシステム。当市では携帯電話等へメール送信される。(登録が必要)

公共情報コモンズとは

情報を発信する自治体等と、それを伝える放送事業者等とを結ぶ共通基盤。コモンズへ1回送信するだけで、様々なメディアを通じて住民へ伝達できるメリットがある。

## 教育に関する所信を 問う

**答** 南魚沼市に日本の良さを  
取り戻す



山田 勝 議員

新学習指導要領が目指す「生きる力」を備えた子どもたちを育てるため、教育長の基本的な考えは、

① 子どもたちにとって

「生きる力」とは。

② 常識的、道徳的に「ならぬことならぬ」という教育をどう考え進めるか。

③ 個性を伸ばすことについて

**市長**

日本古来の道徳の原点が、新渡戸稲造のいう武士道にあったことを思い出した。大人や親の背中を見て育つことが教育の原点と考える。

**教育長**

日本の心の美しさが荒廃している部分もあるが、南魚沼市に日本の良さを取り戻すつもりで教育に当たる。

① 徳・体・知をもって生きぬく力である。豊かな人間性を持ち、自立

協調し、健康な肉体を持って、命あるものとして力強く生きる。知はそれに基づいて問題を解決するスキルを身につけることである。

この三つをバランスよく育て、幸せに生きることができるようになることが教育と考える。

② 一人だけでなく「共に生きる」力を教えることが大切。

何が「ならぬ」ことなのか、大人が理解し示す必要がある。

③ 義務教育は基礎、特別支援では個の対応が必要である。プラスの伸張をしたい。



市立総合支援学校

# 病院経営の改善策は

**答** 医師の確保と経費の節減で

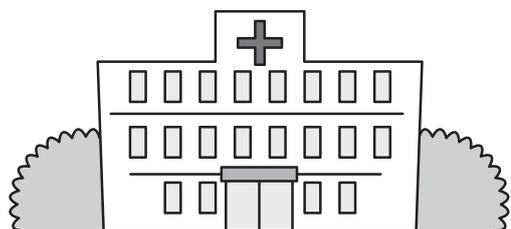
笛木 晶 議員

24年度の補正予算で、大和病院と城内診療所に多額な繰出をしているが、その改善策は。また、新市立病院についての運

営方針は。 **市長** 医師の確保が最重要課題であり、24年度は、常勤医師を増員することができた。 次に経費節減の取り組みであるが、給食は20年度から完全民営化している。その他にも業務の外部委託による人件費の抑制を図っている。 新市立病院群の整備に向けても、まず医師、看護師等の確保が必要であ

る。そのことで人件費が増加するが、常勤医師確保により、医療体制を見直し、非常勤医師の賃金、旅費等は大きく減額できる。 **食育教育への取り組み** 朝食をとらない児童・生徒が増加しているが、学校での食育教育は。 **教育長** 子どもたちが食に関する正しい知識と食習慣を

身につけることができよう。食育推進計画を策定している。各学校において積極的に食育に取り組んでいる。また学級活動、給食時、講演会等で食育教育を実施している。



# 「広域観光圏」バネに「観光外貨」大幅増を図れ

**答** 構想の具体化には最大級の配慮

中沢 俊一 議員

我が国は「ものづくり」の大切さを守りつつ、将来的には観光による外貨の獲得が必要視されている。これは南魚沼市とし

ても再認識すべき動きだ。 全国49の広域観光圏の中で、南魚沼市を含む3県7市町村にまたがる「雪国観光圏」が、最大級の評価を受けていることを再認識し、活用すべきだ。 観光客を呼び込むには、住民による「住んで良し訪れて良し」のふるさと創りが絶対条件とされる。市長の見解は。 ①雪国観光圏7市町村の

特色ある観光資源群を組み合わせ、独自の観光資源を創る戦略意義。 ②新設する「観光コンシェルジュ」に、民間と公とを結びコーディネート機能を与えよ。 ③現代版「北越雪譜」の発刊準備をどう評価。 **市長** ①事務局が湯沢町にあるため湯沢先行の感は否めないが、構想の意義は理解している。遅延

なきよう取り組む。 ②圏内市町村同士の間と公との連携は大切だ。そうした役割にも配慮した設置としたい。 ③200年を経たの同書の現代版発刊の動きは興味深い。協力依頼等があれば、できる限りの協力をしていきたい。



## 今後の市立病院・診療所の方向性は

答 明確な病院理念に基づいて進める



腰越 晃 議員

① 2つの病院の経営に必要な医師、看護師、技術スタッフの確保についての考えは。

あり方についての考えは。

③ 遠隔診療や紹介機能は、予防医療の観点から、人間ドックや健康診断結果は入るのか。

市長

① 医師を確保する要素は、明確な病院の理念、豊富な症例・研修プログラム、優秀な看護師・医療技術者、使いやすい医療設備・働きやすい労働環境が重要だ。25年度は、職員採用計

画を立てていく。現在200名以上のスタッフのいる大和病院と新潟大学等との連携信頼関係をもとに医師の確保を目指したい。看護師は、北里衛生専門学院との連携を重視し、確保に努めたい。

② 持続可能な経営のためには、継続的な新陳代謝による継続性、経営効率性が重要である。城内診療所は25年度中に新たな理念を基に具

体的な検討に入る。大和・六日町の2つの病院は二次医療圏で決められた病床数・診療科を基に検討を進める。

③ 地域医療ネットワークについては、市民の健康寿命の延伸とより良い医療サービスの提供・医療情報の共有により地域医療機関の連携を進めることが目的。平成25年試験運用、26年4月から本格運用を開始したい。



地域医療の原点 中之島診療所

## 原子力災害対策の考えは

答 一気に全部なくすのはムリ



岩野 松 議員

3・11災害から原発に対する住民認識は大きく変わった。事故防災に対する考えは。柏崎刈羽発電所への要望、協定で直

接いえるか。再開しないが一番の安全である。懸念される課題は大きい。もう一度事故があれば、会社倒産だけでなく日本国が崩壊するが。

市長

市は屋内退避の地域で、避難者5万8千人を受け入れる地域だ。市民の安全を第一に情報伝達体制整備を進め、実効性ある避難計画を策定中。再稼働しないことが一番だが、一気に全部なくすのは無

理がある。

岩野

福島県民は再稼働反対になり、湯沢町長も「原発ノー」になったと聞く。原発地域住民は故郷に帰れず、命の危険にさらされている。柏崎がそうなのかもしれないのか。事故に対する認識が甘いのでは。

市長

エネルギーは国民生活の大本。諸々を考えれば柏崎にやめるとは言えない。

## 生活保護引き下げの影響は

「税の一体改革」で生活保護引き下げに踏み切った。生活保護は最低生活の要である。就学援助、国保、介護、国民年金など多方面に影響が出る。

市長

影響がないことはない。就学援助については、今年には変わらない。影響により生活困難者には必ず

対応する。



## 働きながら子育て できる環境整備を

答 調査検討する



牧野 晶 議員

①学童保育への入所可否の案内が3月になって返事がない。もっと早くしなければ安心して子育てできないが。

②旧町毎に1〜2か所の拠点学童を設置し、土曜日や休日、7時30分くらいからの早朝学童についても検討するべきだ。

③全天候型子ども広場設置のアンケート結果はどうだったのか。

④もっと早くできないか協議する。

⑤配置できる学童の先生がいるのか調査し、検討していく。

市長

③市内保育園児等の保護者にアンケートをとった。休日の8時から17時頃に利用したいという意見と、六日町地域中心部にあればという意見が多かった。今後設置について検討する。

### 柏崎刈羽原発との安全協定について

市と東京電力との協定を要約すると「なにかあったら事故の連絡をして、

意見を述べる事ができる」というだけの協定である。安全面等で市の意見が通るのか。

市長

今までこのような協定は結んでいなかった。法的に拘束力はないが、必要と認める場合は現地を確認し、相互に意見を述べる事ができるので、大きな一歩であると考えている。

## 六日町の市街地を どのようにするか

答 考えあぐねている



関 昭夫 議員

南魚沼の中心であるべき六日町の中心市街地は、魅力を失ってきている。昔は住みたいと思っただけ、今は感じられない。住環

境としては脆弱な地盤に立地し、消融雪の問題や狭小の道路、浸水の問題など不利な条件が多いが、今後住みたいと思うような地にするためにどのような考えを持っているか。

市長

市街地の活性化が進まないことや、空洞化が進む一番の原因は冬季の消雪の問題である。二番目は道路の問題と思っただけ、水が使えないことで事業所も含めて周辺部に

関

調査は継続するが目途はついていない。明るい状況とは認識していない。

商店街が元気になるには、住民がいなければならぬ。住民がいるためには、住環境が良くなけ

市長

ればならない。駅前周辺はまちづくりのグランドデザインが示されているとのことだが、中心市街地の具体的な案を示していく必要があるのではないか。

その通りだと思うが、考えあぐねている。今後の街の姿は構想しなければならぬが、具体的なことは持ち合わせていない。



六日町駅前通り



南相馬市 立入禁止区域20km圏内 (H24.4当時)

## 「TPP」参加は慎重に

**答** コメ等が例外ならば参加を



関 常 幸 議員

戦後の荒廃から今日の日本があるのも一にも二にも自由貿易のおかげであり、これからも自由貿易は日本の繁栄に不可欠

だ。しかし、コメ作りと日本農業の将来を考えたとき、TPPへの参加は農業の根底を揺るがすもので、田んぼが日本から消滅する恐れもあるが。

**市長**

先のJAのTPP参加

反対集会で自民党石破幹事長は「農業は必ず守る」と断言している。そして農産物の関税撤廃の例外品目にコメが入ることであれば、私は交渉に参加すべしと考える。交渉の

過程で国益にかなわなければ脱退すればいい。しかし、100%そうだという事ではないので、国の対応を注意深く見守る。

**「JA合併」の推進を**

日本一のトップブランド・魚沼コシヒカリの産地として、同一市内に二通りの生産技術、販売戦略があつていいはずがない。農業情勢は、内外ともに厳しさを増す。魚沼コ

シヒカリを核として、さらなる発展、産地の強固な地盤確保のためにも2JAの合併は不可欠だが。

**市長**

早く一市一JAになつてもらいたい。両JAに対して、積極的に働きかけを行いたいと思う。そのことが、日本一のブランド・魚沼コシヒカリを核とした農業振興に、南魚沼市の発展につながるから。



## 豪雪時の高齢者等屋根雪除排雪の拡充を

**答** 実績・データ等を検証し検討する



黒 滝 松 男 議員

今冬は、3年続きの豪雪に見舞われた。昨年12月9日から大雪となり、今年に入ってからも断続的な降雪と2月末に

また大雪であつた。異常に長い期間、雪との格闘が続き、市民の皆様は大変難儀をした。

市では、高齢者等要保護世帯住宅除雪援助事業で246世帯を認定し、上限時間を24時間以内として進めてきた。豪雪により、1月末で既に約2割、50世帯の方が24時間を超過しており、さらに多くなることが予想される。

2月22日災害救助法適

用、豪雪災害対策本部を設置。16時間延長され40時間以内となり、12月の作業実績までさかのぼり個人負担は無く、超過分を既に支払った世帯には還付されることになった。

災害救助法適用までの間、超過分はすべて実費負担となるので、自分で無理をして屋根に上がったたり、軒先が壊れたり重大事故につながるかねない。高齢者等要保護者世帯の安全・安心を守るため、上

限時間の延長を図るべきでは。

**市長**

高齢者等要保護世帯住宅除雪援助事業は、24時間以内となっているが積雪の状況により、特に市長が認めた場合は延長できることになっている。

豪雪時にあわせて時間設定は難しいが、データ・実績を検証し、現状にそぐわなければ見直しの検討をする。



## 災害時でも中断できない業務の継続は

**答** 業務継続計画を策定する



佐藤 剛 議員

災害時の限られた人員、資源でも中断できない行政業務は継続が必要だ。情報システムがダウンすれば市役所機能が停止す

る。災害時に備え同時被災しない遠隔地でのバックアップが必要でないか。水源を1か所に頼る当市では、先の豪雨災害でも浄水能力低下で断水した。非常用水源として災害時に民間井戸活用はどうか。災害時の透析医療の維持は深刻な問題だ。他県を含め広域的な医療の連携協定が必要でないか。

**市長**

業務継続計画を策定する。情報バックアップは、

大和庁舎でとっている。サーバーだけの対応だが、経費を抑え最大限対策している。

非常用水源として、防災井戸や既存水源を考えている。個人井戸活用は難しいが、調査をする。透析は医療連携の体制はとってないが、物資の備蓄等含め必要だと思う。

**メイディカルタウン構想を総合特区で**

市はメイディカルタウン

構想を掲げ企業集積、雇用創出を図るが、その実現は難しい。「人口減少、医師不足の地方の医療確保と充実。その取り組みを通して地域の再生」をコンセプトに1番ネックの農振除外の措置を含む総合特区の取組みはどうか。

**市長**

農振除外にしなければ、絵に描いた餅だが、総合特区での除外は難しい。市が前面に進める。

## 新たな公共事業「田んぼダム」の取組み

**答** 地域でのまとめりがあれば考える



牛木 芳雄 議員

水田の持つダム機能は多くの人に知られているが、実際にその機能や効果を十分に発揮できているか。今、その水田の持

つダム機能に大きな期待が注がれている。たびたび洪水を引き起こす十二沢川の流域は50年前に区画整理をした極小区画であり、この区域を大型水田に区画整理し、畔を高く強固にし、貯水能力を高める方法で田んぼダムとして活用するから、六日町市街地の洪水対策として大きな期待ができる。

農業の足腰増強と洪水対策の両面から効果絶大と考えるが如何か。

**市長**

構想としてはよいと思うが、水田を所有する人と洪水被害低減の受益者が異なる点に難点があると思う。

今の圃場のままではダムの機能はとても無理である。そこで圃場整備をしてはとのことだが、これには非常に大きなハードルがある。それは地域

の農家の総意が必要であったり、法人の立ち上げや担い手への集積等の事業要件をクリアしたりしなければならぬ。

地域でまとめり、そのような機運が高まれば市も土地改良区も、それに応じた対策を構築してゆかなければならないと考えている。



水源は1か所に頼る（三国川ダム）

## 総務文教委員会

○期日 平成25年1月30日

○調査内容

①市民センターの活動状況について

(含 現地調査)

●大和市民センター

13名の職員で、総合、地域、支援の3つの窓口体制です。

センターの課題としては、市民は窓口で全て用事が足りるといふ感覚で来庁するが、できる部分とできない部分があることをきちんと説明しないとトラブルの原因となることや、職員の知識の習得などがあります。また、庁舎建設から30年が経過し、設備の改修も必要となっています。

●塩沢市民センター

15名の職員体制で目的、業務対応は大和市民センターと同じです。課題についても同様なことを抱えています。南棟は日本郵便棟、北棟はヤマト運輸棟に一部賃貸しています。冬期間の除雪にも苦労しています。

②今後の教育行政について

井口市政の目指す「地域完結型社会の実現・希望を持てる市」を実現するためには、市の宝であり市の未

来を担う子どもたちを責任持って守り育てるのが教育委員会の責務と位置付けています。今後も学力・体力の向上を目指します。

そのための具体的な取り組みについて説明を受けました。1点目は、「心豊かにたくましい子どもを育てる」ことの拡大・充実はです。2点目は、今教育委員会で取り組んでいる「総合支援学校の開校」「五十沢・城内・大巻3中学校の統合整備事業」「図書館整備事業」「大原運動公園整備事業」を成功させること。3点目はその他の事業として7事業を掲げ、その中でも特に「中学3年生子育て教育」「幼保小中連携強化」「学社連携・融合」を図っていくことです。

他に消防無線のデジタル化と「積雪の状況」等について報告を受けました。



## 産業建設委員会

○期日 平成25年1月29日

○調査内容

①水道水による融雪について

(含 現地調査)

六日町地盤沈下地域における水道水による融雪実験を行い、関連データを取得するために行っています。舗装駐車場に散水し、今冬期間を通してデータを取得するものです。

加温装置がうまく動作できないため水道水でのデータ取得となりました。融雪面積は、水道水温度が5℃と低く外気温と降雪量に大きく左右される結果となりました。

今後とも地盤沈下対策としてしっかりと対応をする必要があります。

②水道ビジョン(素案)について

施設の適正規模への見直し、水利の多目的利用、災害時緊急水源の確保や経営状況改善のため現計画を見直すものです。

持続、安全、強靱を3本柱として平成34年度までの計画期間とします。

③米穀情勢とJAの販売戦略について

JAしおざわ、JA魚沼みなみ各担当者より作柄・集荷・販売状況を

伺いました。

共に食味は良いが品質が良くなかったこと、次年度対策をしっかりとらなくてはならないことを確認しました。またブランド力を高め独自販売に力をいれていきたい方針を伺いました。

他に次の項目についても調査を行いました。

④道の駅「南魚沼」の入り込み状況について

⑤雪国観光圏について

⑥ディスプレイと下水道の不明水について



畔地浄水場

# 社会厚生委員会

○期日 平成25年1月25日

○調査項目

- ①保育の現状について（含現地調査）
- 塩沢保育園―定員110人、平成11年に乳児室を増築し、未満児の増加が著しく3・4才児の独立部屋が取れず、施設基準を満たしていません。トイレ数不足で予算要求中です。

- 中保育園―平成17年度に定員120人に変更、築後37年が経過し、施設全体が老朽化しています。園舎前の駐車スペースが不足で、園児の送迎は60分離れた駐車場利用で危険と隣り合わせです。熱中症対策でエアコン設置しましたが、面積適応に追いつかず、昨年8月下旬に入れ替えをしました。

- 若葉会金城保育園―未満児保育、0～2歳児の増加で増築計画をし、25年8月から45人の定員になります。市立塩沢、中保育園も耐用年数や児童の変化も見据えて改築なども含めて今年度から考えます。

- ②アルコール等依存症について

アルコール依存症は一般的には意志が弱くだけではない人と思われま

すが、精神疾患の一つです。治療が必要な対象であり、対策として市民健康づくり計画で取り上げ、医療機関との連携も出ています。病気である認識が必要です。

- ③有害鳥獣対策について

環境交通課からクマ、イノシシ等の人的被害対応の説明を受けました。対策に欠かせない猟友会員の高年齢化と会員不足が問題になっています。農林課から農作物被害が年々増え、常態化して耕作断念地も出ていますと説明を受けました。モデル事業として対策をした船ヶ沢新田は効果がありました。対策を広めるにはきちんとした地元対応が必要です。

他に児童虐待及びDVについて調査しました。



## 第1回臨時会

1/31

### 豪雪のため除雪費を追加補正

12月初めから降雪があり、その後も消えることなく断続的に降りました。機械除雪費（当初予算6億円）に不足が見込まれましたので2億円を追加補正しました。

補正後の機械除雪費は8億円。

※2月22日に旧大和町、六日町地域に国の災害救助法が適用され、豪雪対策本部が設置されました。（3年連続）その後、24日には、旧塩沢町地区に、新潟県災害救助条例が適用。豪雪対策本部は3月6日に雪害対策本部に移行されました。



### 図書館の建設が始まります

・・・建築工事、機械設備工事契約議決

#### ○図書館建設（建築）工事

- ・契約方法 制限付き一般競争入札
- ・契約金額 3億6,225万円
- ・契約の相手 伊米ヶ崎井口宮仲特定共同企業体

工期 平成26年3月31日

#### ○図書館建設（機械設備）工事

- ・契約方法 制限付き一般競争入札
- ・契約金額 1億6,275万円
- ・契約の相手 晃工業・創和特定共同企業体

工期 平成26年3月31日



#### 【参考】過去3年間の雪データ

H 24.12～H 25.4 単位:cm(月日)

	降雪量累計	最大積雪深
本庁舎	1,377	245 (2/25)
大和庁舎	1,412	295 (2/25)
塩沢庁舎	1,277	250 (2/25)

H 23.12～H 24.4

	降雪量累計	最大積雪深
本庁舎	1,527	258 (2/13)
大和庁舎	1,396	280 (2/11)
塩沢庁舎	1,317.5	271 (2/13)

H 22.12～H 23.4

	降雪量累計	最大積雪深
本庁舎	1,353	247 (1/31)
大和庁舎	1,341	280 (1/31)
塩沢庁舎	1,299	270 (1/31)

最近の雪が少なかった年

H 18.12～H 19.4

	降雪量累計	最大積雪深
本庁舎	368	62 (3/13)
大和庁舎	376	70 (2/3)
塩沢庁舎	436	68 (3/13)



# 第1回臨時会・3月定例会の全議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 --=欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

氏名	会派	採決結果
----	----	------

## ◎議案

### 《第1回臨時会》

平成24年度南魚沼市一般会計補正予算（第5号）	可決	
工事請負契約の締結について（南魚沼市図書館建設（建築）工事）	可決	
工事請負契約の締結について（南魚沼市図書館建設（機械設備）工事）	可決	

## ◎議案

### 《3月定例会》

専決処分した事件の承認について（平成24年度南魚沼市一般会計補正予算（第6号））	承認	
平成24年度南魚沼市一般会計補正予算（第7号）	可決	
平成24年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	
平成24年度南魚沼市下水道特別会計補正予算（第3号）	可決	
平成24年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	
平成24年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第4号）	可決	
平成25年度南魚沼市一般会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市介護保険特別会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市城内診療所特別会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市下水道特別会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市水道事業会計予算	可決	
平成25年度南魚沼市病院事業会計予算	可決	
南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決	
南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	
南魚沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決	
南魚沼市税条例の一部改正について	可決	
南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	
南魚沼市保育園条例の一部改正について	可決	
南魚沼市指定地域密着型サービスの事業に関する基準等を定める条例の制定について	可決	
南魚沼市指定地域密着型介護予防サービス事業に関する基準等を定める条例の制定について	可決	
南魚沼市都市公園条例の一部改正について	可決	
南魚沼市市営住宅条例の一部改正について	可決	

## ◎請願・陳情

妊婦健診及びヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を求める請願 (請願者：新日本婦人の会塩沢支部 代表 大平洋子) (紹介議員：岩野 松)	不採択	
---	-----	--

# 城内、大巻、五十沢中学校の統合案が示されました

平成20年11月の南魚沼市学区再編検討委員会の答申を受け、その後PTA、集落懇談会、更に中学校区の代表30名からなる「教育を考える会」での検討を行いました。その結果、今後の生徒数の減少等の危惧から、「統合はやむを得ない」という意見集約になりました。それを踏まえて教育委員会から統合方針が示されました。

## ● 統合の方針

- (1) 城内、大巻、五十沢中学校は平成29年4月を目標に統合を進めます。
  - ・三中学校は同時に閉校し、新たな中学校として開校します。
- (2) 統合校舎の位置は城内中学校を有効活用します。
  - ・通学時間、既存校舎の活用、統合費用等の検討により、城内中学校を増築・改修し活用します。
- (3) 通学距離が3kmを超える場合は通学バスを運行します。
  - ・現行の運行基準によります。



城内中学校



大巻中学校



五十沢中学校

- (4) 統合までは、生徒間、学校間の交流を最大限行います。
  - ・三中学の連携を図りながら、円滑な統合を進めます。
- (5) 統合に伴う校名、校歌、校章、制服、部活動、通学バス、後援会等について、統合準備委員会（仮称）を設置し検討していきます。

## ● 予定するスケジュール

統合方針は、平成25年度の早い段階で、学校・保護者・地域等関係者への説明会を開催し合意形成を図ります。平成26年度には実施設計、用地取得、統合準備委員会（仮称）を設置。平成27年度～28年度に工事を着工し、平成29年4月の開校を目指します。

## 6月議会 予告

6月に市議会定例会を開催します。

日程のお問合せは  
議会事務局 (☎773-6650) へ。

### 議会広報編集特別委員

委員	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
佐藤	小澤	林	鈴木	黒木	山越	岩野
剛	実	茂	一	松	晃	松

## 編集後記

五月の空に鯉のぼりが泳ぐ一年中で最も爽やかな季節を迎えました。農家みなさんは春の作業に忙しい毎日をおくっていることと思います。今回の「議会だより」は、3月定例会を中心に編集しお届け致します。平成25年度当初予算が主要な記事になります。多くの市民の皆さんにお読み頂き、市政への関心を高めて頂きたいと委員全員が願っています。

平成25年度の南魚沼市が実施する様々な事業がその目的通りの効果を挙げてゆくのか、見守りチエックし、必要な提言を行うのも議会の使命として果たしていきます。



編集委員

腰越 晃